

# F P まつもと通信

ちょっと得する「お金」や「資産形成」についての話題をお届けします。

## ご挨拶

11月は「いい夫婦の日」「いい歯の日」など語呂合わせから「いい〇〇の日」がたくさんありますが11月30日は何の日かご存知ですか？

「いいみらい」の語呂合わせで平成26年に厚生労働省が「年金の日」と決めました。

ねんきんネット、マイナポータル、年金定期便のQRコードなどで自身の見込み年金額を確認してはいかがでしょうか？

## お手元に保険料控除証明書は届いていますか？

保険料控除証明書は年末調整や確定申告に必要になります。再発行には時間がかかることがあります。もしお手元にない場合には早めにご連絡ください。



## 今月号のちょっと気になるお金のコラム

先月は120年以上続くノーベル賞の発表がありましたね。毎年受賞者に1億円程度の賞金を授与しているのですがなぜお金は枯渇しないのでしょうか？

## 年間医療費46兆円に

2022年度に医療機関に支払われた医療費の総額が46兆円だったことを9月に厚生労働省が発表しました。21年度から1.8兆円の増加、2年連続で過去最高を更新しました。

下表は1年間の医療費の総額と一人当たり医療費の推移を表しています。

	医療費の 総額	1人当たり医療費（万円）		
		全体	75歳未満	75歳以上
2018年度	42.6	33.7	22.2	93.9
2019年度	43.6	34.5	22.6	95.2
2020年度	42.2	33.5	21.9	92.0
2021年度	44.2	35.2	23.5	93.9
2022年度	46.0	36.8	24.5	95.6

特に気になるのが75歳以上の人の一人当たり医療費です。75歳未満の人が使う医療費が年間24.5万円であるのに対し75歳以上の人は95.6万円と約4倍の医療費を使っています。

2025年には団塊の世代全員が75歳以上となり日本の人口の約2割が75歳以上の後期高齢者になります。同時に医療の進歩により高額な医薬品や治療方法も多くなっていることから今後も医療費は増えていくことが予想されています。

負担と受給の見直しを見据えて自分でできる準備はしっかりとしておく必要があります。



F P 松本相談センター  
ファイナンシャルアドバイザー  
媚山裕之

〒390-1702

長野県松本市梓川梓856-26

0263-76-1250

090-8741-7358

[info@fp-matsumoto.com](mailto:info@fp-matsumoto.com)

<https://fp-matsumoto.com>



2012年から2015年までの3年間、社会保険労務士として「年金事務所における年金相談業務」に従事。そこで、数多くの“悲惨な老後の実態”を目の当たりにし、老後に向けた資産形成の必要性を痛感。

国も勧める、“確定拠出年金”や“つみたてNISA”を活用した「長期・分散・つみたて投資」を真面目に、地道に推進。クイズやゲームを活用した『つみたて投資セミナー』は「わかりやすく、ためになる！」と多くの受講者からご支持をいただいております。

# 確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

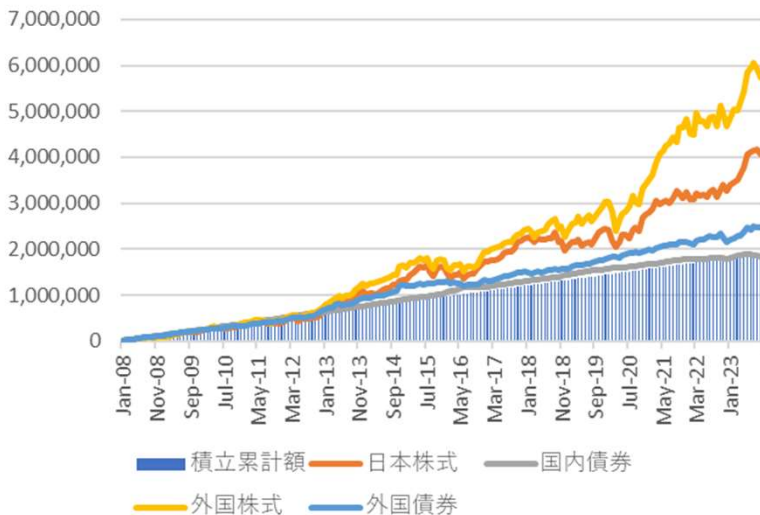
下図表は2008年1月から積立投資をした場合のシミュレーションです（MS社インデックスファンド基準価額データを利用）。図①は国内外の株式・債券の種類ごとの積立投資の推移を表しています。図②は外国株式ファンドと外国債券ファンドに積立投資をした場合の積立開始時期による成果の違いを表しています。この2つのグラフを見ると、確定拠出年金のような長期の積立投資で成果を得るためには以下のポイントが大切であることがわかります。

**投資期間に応じた資産配分：**積立期間が長い場合には株式の割合を多く、まとまった資金の受取予定が近い場合には株式の割合を少なくする

**大幅に値下がりした場合：**積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する

**長期継続する：**値動きや値動きを解説するニュースに惑わされず長期継続する

① アセットクラスごとの積立投資の推移



	Aug-23	Sep-23	Oct-23
積立累計額	1,880,000	1,890,000	1,900,000
日本株式	4,149,871	4,180,246	4,063,852
国内債券	1,871,283	1,867,397	1,847,121
外国株式	6,062,920	5,924,485	5,732,012
外国債券	2,500,656	2,472,733	2,478,560

2008年1月からの積立投資の推移です。株式は値動きは大きい一方値上がりも期待できます。債券は値動きは小さく値上がりも小さいことがわかります。従って長期の積立では株式をメインに、まとめて取崩す予定がある場合は株式の割合を少なくします。

② 積立開始時期ごとの積立合計と評価額



2008年1月に始めた積立投資の合計額①190万円（青棒）は2023年8月に②573万円（オレンジ線）、約3.01倍になりました。グラフの左の方は積立合計（青棒）に対して現在の評価額（オレンジ線）が大きく上の方に離れているのに対しグラフの右の方はその差が小さくなっています。つまり投資の成果は概ね積立期間に連動していると考えられます。

外国株式に10年（120万円）積立をした場合の最大値、最小値、平均値は下表のようになりました。

最大	2,640,931	2012年1月 ~ 2021年12月
最小	1,747,373	2010年4月 ~ 2020年3月
平均	2,272,476	データ数：71

# 確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

## 引締め長期化懸念で続落

	日経平均		NYダウ		ドル円
Aug-23	32,619.34	-1.67%	34,837.71	-2.03%	146.26
Sep-23	31,857.62	-2.34%	33,507.50	-3.82%	149.35
Oct-23	30,858.85	-3.14%	33,052.87	-1.36%	151.45

10月の株式市場は、中東情勢の不透明感、FRBによる金融引締めの長期化、中国不動産不況による景気の悪化、などの懸念により下落しました。

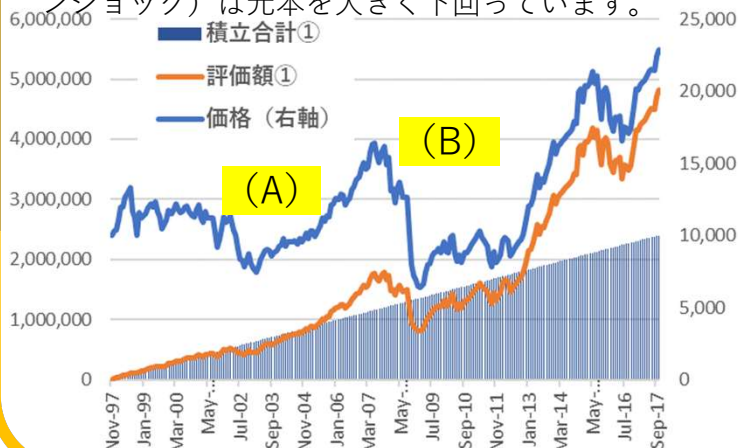
10/31-11/1のFOMCで利上げが行われなかったことで一転、利上げ終了と予想する向きが優勢となり11月2日にはNYダウ平均は560ドルの大幅高となりました。

このようなニュースと株価の動きをみるにつけ、値動きを解説するニュースに惑わされないことが大切だとあらためて感じるのではないのでしょうか。

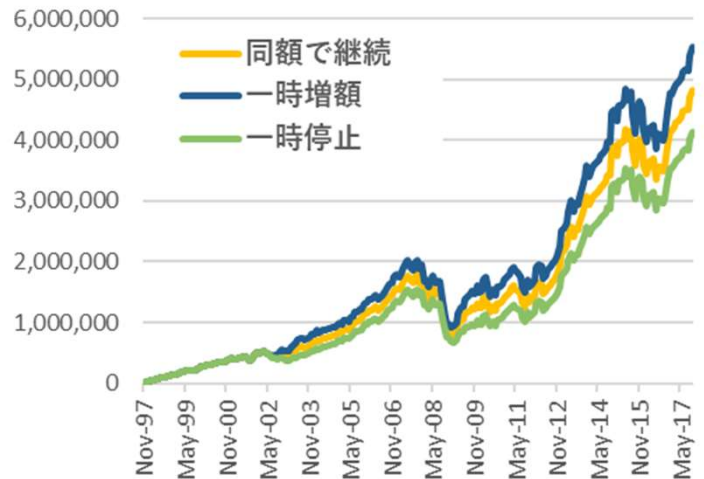
## 下落時は、積立停止？それとも増額？

積立を継続している中、積立元本をときに大きく下回ることもあります。そのようなときにどのように対応するのが良いか検証してみたいと思います。

下図は1997年から20年間、青線の値動きの商品（外国株インデックスファンド）に毎月1万円積立した結果を表しています。20年240万円の積立元本が482万円に大きく殖えています。 (A) 2002年～2004年（ITバブル崩壊）と (B) 2008年～2012年（リーマンショック）は元本を大きく下回っています。



下図表はこの大きく元本を下回っている期間に、①金額を変えずに継続した場合、②下落した (A) と (B) の時期にそれぞれ12か月、2万円に増額した場合、③下落した (A) と (B) の時期にそれぞれ12か月、積立を停止した場合、の評価額の違いを表したものです。



		97年11月 ～ 02年5月	02年6月 ～ 03年5月	03年6月 ～ 08年10月	08年11月 ～ 09年10月	09年11月 ～ 17年10月
①定額	積立額	1万円	1万円	1万円	1万円	1万円
	累計積立額	55万円	67万円	132万円	144万円	240万円
	評価額	48万円	54万円	95万円	123万円	482万円
②増額	積立額	1万円	2万円	1万円	2万円	1万円
	累計積立額	55万円	79万円	144万円	168万円	264万円
	評価額	48万円	67万円	107万円	151万円	552万円
③減額	積立額	1万円	0円	1万円	0円	1万円
	累計積立額	55万円	55万円	120万円	120万円	216万円
	評価額	48万円	42万円	84万円	95万円	412万円

増額した24万円が70万円もの差になっていることがわかります。

値下がり時は不安に感じ積立を停止、場合によっては今まで積立してきたものを解約してしまいたくなるかもしれませんが、これを見ると低迷時に止めずに継続すること、さらに増額することが将来の成果に大きくつながることがわかります。

長期の積立投資では一時的な評価額のマイナスに惑わされず継続、できれば増額を検討することが大切です。

## ちょっと気になるお金のコラム

10月はノーベル賞の発表がありました。残念ながら日本人の受賞はありませんでしたが、生理学・医学賞の「mRNAワクチン」の研究や経済学賞の「女性の労働参加と男女間格差」についての研究が話題になりましたね。

2020年から世界を揺るがした新型コロナウイルスのワクチン開発が「mRNAワクチン」の研究成果によるものだったことで例年の医学・生理学賞よりも身近に感じた人も多かったのではないのでしょうか？

「女性の労働参加と男女間格差」については特に日本は課題が大きいといわれています。OECD（経済協力開発機構）によると日本の男女間の賃金格差は21.3%、OECD平均（11.9%）の約2倍、OECD加盟38か国中34番目です。

### 気になる賞金は？

今年度の賞金額は1,100万スウェーデンクローナ（以下SEK）です。9月末時点で、1SEKは13.68円ですから日本円にすると約1億5000万円になります。

ところで日本人がノーベル賞を受賞した場合、賞金に税金はかかるのでしょうか？

実は経済学賞とそれ以外の5つの賞（物理学、化学、生理学・医学、文学、平和）では税金の扱いが異なります。

経済学賞は正式名称を「アルフレッド・ノーベル記念経済学スウェーデン国立銀行賞」と言いノーベルの遺言にこの賞はなく、賞金はスウェーデン国立銀行から支払われます。

日本の所得税法第9条1項十三号ホには「ノーベル基金からノーベル賞として交付される金品は非課税」、という規定があります。つまり経済学賞は課税（一時所得）、その他の5賞は非課税になります。

一時所得の計算式は以下になります。

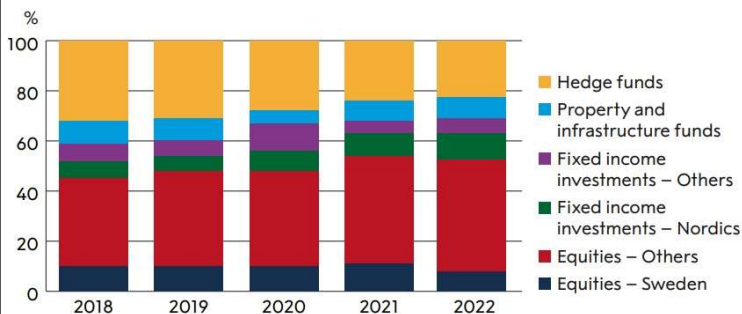
総収入金額 - 収入を得るために支出した金額 - 特別控除額(最高50万円)

ノーベル賞を獲得するような研究者であれば人生のほとんどをその研究に費やしているはずですから、今までの学費や書籍代、学会出席のための旅費など、どの程度が収入を得るための支出と認められるかで大きく税額が変わってきそうですね。仮に支出が「0円」とした場合の税額は6347.9万円になります。

$$(1億5000万円 - 50万) \times 45\% = 479.6万円$$

### 賞金の財源は？

ノーベル財団はダイナマイトを発明したアルフレッド・ノーベルの遺産を基に設立されました。いくら莫大な遺産といっても取り崩すだけだと目減りしていつてしまうので、株式などに投資をして、その収益を賞金や運営費用に充てています。



ノーベル財団年次報告書より抜粋

2022年の年次報告書によると基金の総額は約790億円、その約60%を株式に、残り約40%は債券、不動産、ヘッジファンドに投資しているようです。

運用で基金の減少を和らげることで120年以上にわたりノーベル賞を継続することができているのですね。

高齢化を迎え資産寿命を延ばすことが課題になる私たちにも参考になるのではないのでしょうか？